



9月定例会 8月30日～9月20日

10月5日に始まった瀬戸内国際芸術祭2013。
芸術の秋にふさわしく、瀬戸内の風景に作品がとけ
こんでいます(本島でのオープニングセレモニー)。

主 な 内 容

- | | | | |
|------------------|-----|---------------------|-------|
| ● 本会議のあらまし | 2 | ● 審議した議案とその結果 | 7 |
| ● 質疑 | 3 | ● 一般質問 | 8～11 |
| ● 討論 | 3 | ● 常任委員会視察 | 12～13 |
| ● 委員会審査 | 4～5 | ● 特別委員会の取り組み | 14 |
| ● 意見書 | 5 | ● 11月に議会報告会議会 | 15 |
| ● 議案の内容 | 6 | ● 新人議員のつづやき | 16 |

9月定例会

カマタマーレ出資金^{ほか}

原案のとおり可決

本会議の あらまし

市議会9月定例会は、8月30日から9月20日まで22日間の会期で開かれました。

初日は、まず平成24年度的一般会計及び各特別会計決算認定議案と議案第66号、第67号の企業会計の利益の処分及び決算認定議案が上程され、それぞれ決算特別委員会を設置し、閉会中



市長の提案説明

も継続して審査することになりました。

その後、議案第68号から第90号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。

9月3日は、提出議案について4名が質疑を行い、さらに各常任委員会で詳しく審査することとしました。

4、5、6、9日は、市政全般について17名が一般質問に立ちました。

常任委員会は、教育民生、都市経済が10日に、生活環境、総務が11日にそれぞれ行われ、議案審査が行われました。

20日の最終日は、常任委員会に付託していた議案の審査結果について、各委員長からいずれも原案承認の報告がありました。

議案第68号について1名が反対、1名が賛成討論を行ったことに伴い、同議案を分離して起立によって採決し、賛成多数で

可決しました。

また、議案第69号から第90号までは、一括採決により原案を可決しました。

その後、議案第91号「市長等の給与の特例に関する条例の制定」と第92号「工事請負契約の締結について（総合運動公園野球場スコアボード設置工事）」が追加提案され、議案第91号について1議員が質疑、2議員が反対討論を行い、議案第92号について2議員が反対討論を行ったことに伴い、それぞれ起立によって採決し、2議案とも賛成多数で可決しました。

最後に議員派遣と意見書案について可決後、今期定例会を閉会しました。



起立による採決

決算特別委員会設置 閉会中の継続審査に

委員会では、平成24年度の決算について、延べ5日間にわたり審査します。

審査結果は、12月定例会で各委員長が報告します。

各委員会の委員には、次の議員を選びました。

（委員長 ○副委員長）

一般会計及び各特別会計 決算特別委員会

○内田 俊英 ○三谷 節三

真鍋 順穂 水本 徹雄

神田 泰孝 多田 光廣

岡田 剛 中谷真裕美

加藤 正員 高木 新仁

横川 重行

企業会計

決算特別委員会

○藤田 伸二 ○松永 恭二

川田 匡文 佐野 大輔

三宅 真弓 小野 健一

福部 正人 片山 圭之

三木 まり

質疑

質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

>

三木 まり

①一般会計補正予算（カマタマール讃岐出資金）②公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正、児童館条例の一部改正、

公民館条例の一部改正

岡田 剛

①公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正、児童館条例の一部改正、公民館条例の一部改正

藤田 伸二

①一般会計補正予算（私立保育園の保育士等処遇改善臨時特例事業補助金）②市民の歯と口腔の健康づくり推進条例の制定③

工事請負契約の締結（城西・城北小学校校舎改築に伴う電気設備工事）

中谷真裕美

①一般会計補正予算（カマタマール讃岐出資金）②児童館条例の一部改正、公民館条例の一部改正

藤田 伸二（追加議案）

①市長等の給与の特例に関する条例

カマタマール出資金 経緯を示せ

③三木議員 カマタマール出資に至る市の検討プロセスを明らかにせよ。

④生活環境部長 5月に要請書が提出されたが、市では説明不足として継続検討することとした。7月に再度、要請書が提出され、全庁的な協議を行った。

指定管理者制度 導入時期は

⑤岡田議員 東小川児童館と東小川公民館、市児童館と生涯学習センターの指定管理者制度導入時期はいつか。

私立保育園の保育士 処遇改善事業継続を

⑥生活環境部長 平成26年4月から指定管理者制度導入を予定している。

⑦藤田議員 保育士等処遇改善特例補助事業が、もし今年度で終わった場合、市として継続的な支援をするべきではないか。

⑧健康福祉部参事 国は本事業を継続が必要な事業と認識しているが、もし終了した場合、市の補助金の範囲内で対応する。

カマタマール出資金 公共性をどう保つ

⑨中谷議員 カマタマールへの

国からの圧力 地方主権を守れ

出資金1千万円は、公金支出に不可欠な条例や計画の根拠が希薄である。公共性の担保、出資額の基準は。

⑩生活環境部長 市スポーツ振興ビジョンに基づき、カマタマール讃岐を活用することが有効であると判断した。

⑪藤田議員 職員給与を削減しなかった場合、確実に実行される不利益はないか。

⑫総務部長 削減しなければ、来年度以降、交付税が抑制されるのではないかと懸念している。詳細はわかっていない。

討論

議案に賛成×反対の意見を表明します。



《反対討論》

藤田 伸二

議案第68号 カマタマール讃岐出資金に反対

理由 Jリーグ昇格が確定した段階で出資すべきである。

《賛成討論》

大前 誠治

議案第68号 カマタマール讃岐出資金に賛成

理由 地元プロチームの支援体制確立は必要な措置である。

《反対討論》

藤田 伸二

議案第91号 市長等の給与の特例に関する条例に反対

理由 交付税を盾にした国の理不尽な要請は、地方自治を否定するもので不当である。

《反対討論》

尾崎淳一郎

議案第91号 市長等の給与の特例に関する条例に反対

理由 国の違法で不当な圧力に屈するべきではない。

議案第92号 総合運動公園野球場スコアボード設置工事に反対

理由 優先順位を考えれば、野球場を建設するときではない。

委員会審査

一般会計補正予算など 各委員会で原案承認

9月3日の本会議で各常任委員会に付託された議案は、10日に教育民生と都市経済、11日に生活環境と総務委員会が開かれ、市長や副市長、担当部課長などが出席し、細部にわたる審査を行いました。

主な質疑、要望は次のとおりです。

教育民生委員会

主な質疑

- なぜ小学校の太陽光発電設備が10キロワット程度なのか
- 中津万象園の茶亭保存修理に、市はどうかかわるのか
- 城北小学校校舎改築で運動場が四角形でなくなるが、何か配慮はあるか
- 公民館を今後どのようにしていきたいのか

- 生活困窮者自立支援促進モデル事業が、本当に生活保護が必要な人を切り離すことにつながらないか
- 就労準備支援事業と就労訓練事業で、対象者が貧困ビジネスのターゲットにされたり、不当に扱われたりしないか
- 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金を一日でも早く交付する考えはあるか
- 介護保険特別会計の基金積み立て状況と保険給付費の推移をどう分析しているか
- 公民館と児童館を指定管理にせず、市の直営とする考えは

主な要望

- 学校改築時などは、元の校舎位置に建設することを基本に考えていただきたい。
- 基金を活用し、介護保険料の上昇を少しでも抑えていただきたい。

質疑の後、議案第81号と第84号に対し、「再生可能エネルギーにかかる施策や環境問題は、環境や教育の見地から、積極的に取り組む市の姿勢を示すこと」との附帯決議を付して原案を承認しました。

都市経済委員会

主な質疑

- 新車購入で、既存の消防車はどうなるのか
- 化学消防ポンプ自動車は、21年間にどの程度出動したか
- 市道として認定する基準は
- 緊急車両等は幅員5メートルで対応できるのか
- 町及び字の区域の変更について

て、事前に持ち主の了解を得ているのか

主な要望

- 消防車は、オークションで売れなかったから処分するのではなく、再利用について検討していただきたい。

質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

生活環境委員会

主な質疑

- クリーンセンター工場棟の改修で業務に支障は出ないのか
- ペットボトル圧縮機は、全体を交換するほうが費用対効果は高いのか
- 丸亀市公民館条例と丸亀市生涯学習センター条例との整合性を持たせる考えは
- カマタマール讃岐がJリーグに昇格できる条件をすべてクリアした後に、出資することはいかないのか

主な要望

○指定管理者には、設置目的に沿った運営をしてもらえるよう、実施方針に明記し選定を行っていただきたい。

質疑の後、カマタマーレ讃岐への出資について反対する、カマタマーレ讃岐への出資について賛成するとの討論がそれぞれあり、挙手による採決の結果議案第68号を承認しました。また、他の議案については討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

総務委員会

主な質疑

○かがわ電子自治体システム導入のメリットはあるのか
○予約可能な施設が増えれば、システム利用に伴う負担金は高くなるのか
○体育館などの施設は、前年に次年度分の予約を受け付け、調

整しているが、システムを導入しても、これまで同様、直接申込みが優先されるのか

○予約をする際の本人確認などの対策はどうなっているか

○子ども・子育て新システム導入の全体事業費はどの程度か

○地方公務員給与削減による地方交付税への影響はどの程度か

○附属機関に位置付けられる会議等を、今回条例に明記した基準は何か

○市税等滞納収納員の報酬額の基準は、どのようにして決めたのか

主な要望

○かがわ電子自治体システムへの加入といった施策は、計画的に取り組んでいただきたい。

○システム導入で、今まで利用していた方や団体とトラブルにならないよう、配慮していただきたい。

○視察に行った委員以外の議員にも十分に情報提供し、情報の共有に努めていただきたい。

質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

平成25年度の地方財政計画において、政府は、国の政策目的の実現のため、地方公務員の臨時給与減額に係る地方交付税減額をおし進めた。このことは、地方財政制度の根幹を揺るがすものであり、憲法が保障する地方自治の本旨からみて、容認できるものではない。

地方交付税は地方の固有財源であり、地方交付税法第1条に規定する「地方行政の計画的な運営」、「地方団体の独立性の強化」に資するものでなければならぬ。この法の目的を実現するため、地方財政計画・地方交付税については、国と地方の十分な協議を保障した上で、そのあり方や総額について決定する必要がある。

さらに、被災地の復興、子育て、医療、介護などの社会保障、環境対策など地方自治体が担う役割は増大しており、地域の財政需要を的確に見積もり、これに見合う地方交付税総額を確保する必要がある。

よって国においては、地方財政の充実・強化を図るため、下記の事項を実現されるよう強く要望する。

記

1. 地方財政計画、地方交付税総額の決定に当たっては、国の政策方針に基づき一方的に決めるのではなく、国と地方の協議の場で十分な協議のもとに決定すること。
2. 地方公務員給与費の臨時給与削減により減額した給与関係経費等に係る財源については、完全に復元すること。
3. 医療・介護、子育てなど社会保障関係経費や地域経済活性化のための取り組みなど今後増大する財政需要を的確に反映した地方財政計画を策定し、必要な地方交付税総額の確保を図ること。
4. 地方交付税については本来の役割である財源保障機能・財政調整機能の強化を図るとともに、国税5税の法定率の引き上げ、社会保障分野の単位費用の改善など抜本的な対策を講じること。

(提出先) 内閣総理大臣 財務大臣

総務大臣 内閣官房長官

内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

議案の内容

議案の内容

地方税法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

▼議案第76号 児童館条例の一部改正

指定管理者制度導入に伴い、所要の改正を行うもの

▼議案第77号 市民の歯と口腔の健康づくり推進条例の制定

歯科口腔保健の推進に関する法律の施行に伴い、市の基本理念や施策を定めるもの

▼議案第78号 公民館条例の一部改正

指定管理者制度導入に伴い、必要な事項を定めるもの

▼議案第79号 火災予防条例の一部改正

消防法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

▼議案第80号 城西小学校校舎改築工事請負契約の締結

菅・ヒカリ特定建設工事共同企業体に落札決定し、17億2200万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第81号 城西小学校校舎改築に伴う電気設備工事請負契約の締結

(株)カナツク丸亀営業所に落札決定し、1億8729万9000円で仮契約を締結したので、

議会の議決を得るもの

▼議案第75号 国民健康保険条例の一部改正

議会の議決を得るもの

▼議案第82号 城西小学校校舎改築に伴う機械設備工事請負契約の締結

三宅設備工業(株)に落札決定し、2億4255万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第83号 城北小学校校舎改築工事請負契約の締結

第二・豊嶋特定建設工事共同企業体に落札決定し、13億9965万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第84号 城北小学校校舎改築に伴う電気設備工事請負契約の締結

(株)四建プラントに落札決定し、1億6272万9000円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第85号 城北小学校校舎改築に伴う機械設備工事請負契約の締結

(株)高木工業所に落札決定し、2億3730万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第86号 郡家コミュニティセンター改築工事請負契約の締結

松永工業(株)に落札決定し、2億55万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第87号 物品の購入(化学消防ポンプ自動車Ⅱ型)

(株)岩本商会に落札決定し、7654万5000円、3874万5000円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第88号 物品の購入(消防ポンプ自動車CD-I型)

(株)東芝に落札決定し、1億7850万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第89号 町及び字の区域の変更(川西町南字剣来ほか3区域)

地籍調査により、境界を明確にするための変更について、議会の議決を求めるもの

▼議案第90号 市道路線認定(山北町池田南北2号線)

新たに市の管理となった路線を認定するもの

▼議案第91号 市長等の給与の特例に関する条例の制定

市長以下、特別職及び一般職員の給与を減額するもの

▼議案第92号 総合運動公園野球場スコアボード設置工事請負契約の締結

(株)東芝に落札決定し、1億7850万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

平成25年 9月 定例会

審議した議案とその結果

議案番号	議員名 審議 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
		川田 匡文	真鍋 順穂	松永 恭二	吉田 正和	水本 徹雄	佐野 大輔	神田 泰孝	多田 光廣	小橋 清信	山本 直久	岡田 剛	大前 誠治	三宅 真弓	中谷 真裕美	尾崎 淳一郎	加藤 正員	藤田 伸二	小野 健一	高木 新仁	三谷 節三	福部 正人	内田 俊英	国方 功夫	片山 圭之	松浦 正武	横川 重行	三木 まり
認定第1号	継続審査																											
議案第66号	継続審査																											
議案第67号	継続審査																											
議案第68号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○		○	○	●	●
議案第69号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第70号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第71号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第72号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第73号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第74号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第75号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第76号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第77号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第78号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第79号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第80号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第81号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第82号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第83号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第84号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第85号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第86号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第87号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第88号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第89号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第90号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第91号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第92号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議員派遣第3号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
意見書案第1号	原案可決	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

議長のため採決に参加せず

○は賛成、●は反対、一は除斥または欠席した者です。

※除斥とは議案に利害関係のある議員を審議から除くため、議場から退席させることです。

一般質問

一般質問

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

真鍋 順穂

①学業と人づくりが融合した教育の実現②就学前教育③ため池の保全管理と助成政策の拡充④飯野山野外活動センター周辺の災害防止⑤(仮称)飯山幼稚園の交通安全対策⑥総合運動公園野球場の利活用と条件整備の状況

横川 重行

①農業関連(所得向上策・地産地消・鳥獣被害対策・耕作放棄地対策)②子供の安全・安心面の対策(防犯・交通事故指導・通学路の整備など)

山本 直久

①希少糖を使った給食②高齢者の筋トレ支援③路面標示のカラー化④学校施設の地震時の避難経路⑤防災マップ掲示板の設置

三谷 節三

①介護保険要支援事業の市町村への移行に向けた対応②就学前子ども教育③市民ひろば

の噴水と水に親しむ施策④ふるさと納税の実績と効果

水本 徹雄

①ふれあい戸別収集を民間から市の直営に②市指定ごみ袋の現状と販売収益の使途③公用封筒や公用車などへの広告事業の現状と収益の使途④生活保護制度⑤給食センター金属検出機導入⑥土器川地区の堤防改修の現状

小野 健一

①市道西土器南北線道路整備事業の進捗状況②市道城東町南北2号線改良計画③市立保育所の統合に関して④水道事業(小水力発電計画・水道管理システムのクラウド化)⑤市長、市議会議員選挙の投票時間の繰り上げ

藤田 伸二

①人間ドック受診への補助制度の創設②地域包括支援センターの増設③子どもたちに戦争は絶対いけないこ



とを伝えていく取り組み④職員給与カット問題

大前 誠治

①雨水排水対策②指定管理者制度の現状と成果③職員の人事評価と育成

片山 圭之

①教育再生に向けての政府の取り組みや提言に関して②グローバル人材育成③小中高一貫4・4・4制④土曜授業と小学校の英語教科化⑤駅前通りに歴史・文化の香り高い空間を創出する考え⑥消費増税に対する市長の考え⑦介護保険制度と福祉に対する考え

福部 正人

①教育長による教職員への出前トークの実施②防犯カメラの設置③ジョブローテーションと複線型人事制度の導入④廃食油の活用⑤レンタサイクル等の周知方法⑥介護保険における資料提供制度の確立⑦コミュニケーション支援ボードの活用

佐野 大輔

①ふるさと納税の現状と納付方法などの拡充②猪熊弦一郎現代美術館の現状

中谷真裕美

①災害から市民を守る予防重視の防災対策を②子供たちの生活の場として「青い鳥教室」の充実に

三木 まり

①本市独自の貧困対策と就労支援②新野球場の管理運営面での戦略と考え方

加藤 正員

①市民の声を聴き、丁寧に市民へのサービスを提供する行政組織②市役所の人員体制

内田 俊英

①市役所の機構改革に関して②フェイスブックなどSNSの活用③市営住宅入居者の高齢化問題④丸亀城の整備に関する提案

神田 泰孝

①カマタマール等県下4大スポーツへの市の関わりとスポーツ推進②離島の診療所の体制③1階市長室の運用状況

尾崎淳一郎

①消費増税に対する市長の見解②介護保険制度の改正による影響③生活保護基準の見直しによる影響と対応

学校、家庭、地域で

人づくりの教育施策を

◎真鍋議員 学校、家庭、地域社会が三位一体となった人づくりの教育施策を有識者会議や市内部の検討会で策定し、市の教育に反映してはどうか。

▲教育長 教育は学校だけで行われるものではなく、家庭や地域など、社会全体で取り組むことが大切であると強く考えている。本市の小中一貫教育はまさに学校、家庭、地域が一体となった教育施策として大きな役割を担っており、子供たちが各地で伸び伸びと成長できるよう、皆様の御協力をいただきながら教育活動を展開していきたいと考えている。

農業への不安解消 農業生産力の強化を

◎横川議員 米の新品種を拡大すれば、販売価格の増収につながるのか。また、どのように麦の生産拡大を推進するのか。

▲産業文化部長 県産の米、おいでまいは平成23年度より試験

栽培、本年度より一般栽培が開始された。良質な米生産ができる品種として、1俵当たり約千円の収益増が見込まれ、今後の市場評価の向上によっては、さらなる販売価格の増収につながる。麦の生産拡大については、国、県の生産調整に係る助成制度の周知を徹底し、新規栽培者を掘り起こし、県、JAなど関係機関と連携し、推進したい。

香川の希少糖を 学校給食に

◎山本議員 香川大学を中心に地元産の産学官で研究開発を進めている希少糖は、食後の血糖値上昇抑制効果があると報告されている。年に一度でも希少糖を使った給食は実施できないか。

▲教育部長 学校給食は安価な給食費で賄っており、高価な食材の使用は他の食材への影響も考えられる。給食用食材の購入は、学校給食物資購入委員会で毎月入札、選定をしているが、栄養教諭の指導の下、献立作成を工夫し、合理的な物資調達に努めながら、希少糖をデザートなどに使用できるように、物資購

入委員会に諮っていきたい。

市民ひろば噴水停止 市の認識は

◎三谷議員 市民ひろばの噴水が使用されなくなつて久しい。市は芸術的にも評価せず、修復する価値もないと考えるのか。

▲都市整備部長 噴水は市民ひろばの主要な施設であり、背景の丸亀城の石垣とも調和するよう設計され、デザイン、構造とも素晴らしいと認識している。

しかし整備から約40年が経過し、県内の慢性的な渇水時に水を使用することへの配慮もある。また、老朽化が著しく修復は困難である。今後、市民ひろば全体の改修、大手町地区周辺公共施設の再編計画などと併せ、撤去も視野に入れて検討したい。

ふれあい戸別収集 委託から市の直営に

◎水本議員 ごみのふれあい戸別収集は外部の委託業者が行っているが、市の職員による直営で運営されるべきではないか。

▲市長 ふれあい戸別収集は、

ごみを収集場所まで持ち出すことが困難な世帯に対し、戸別にごみを収集することを主たる目的とし、併せて本人の希望に基づき、声掛けによる安否確認を行っている。現状の地域を所管する委託事業者による制度の運用で不足はないと考えるが、多様な市民ニーズに応えるため、今後制度の見直しを行う際には、関係者と協議し、運営する主体を含め、総合的に検討したい。

城南・平山保育所稼働率 現状で良いのか

◎小野議員 新設の城南保育所や平山保育所の受け入れ児童数が今のままで稼働率が低くともなれば、市民の貴重な財産が無駄に失われるのではないか。

▲市長 城南保育所と平山保育所は、地域に根差した保育所であると同時に、耐震改築工事により、入所時の安全確保と保育環境が整った保育所である。年度途中に入所希望があつても入所できない近隣保育所の受け皿として、積極的に受け入れたい。さらに、平山保育所では、土曜保育の充実、延長保育やゼロ歳

児保育の導入など、早急に入所児童が増える策を検討する。

市民の戦争体験

若い世代へ伝えよう

◎藤田議員 市民から募集した戦争体験記を広報紙やホームページなどに掲載して、戦争を知らない世代が学べるような取り組みをしてはどうか。

◎総務部長 これまで終戦記念日である8月号の広報紙に戦争体験談を募集し、平和について考える記事の掲載を行ったことはあるが、今後も、広報紙やホームページを活用し、終戦後の節目となる時期や機会を捉えて、戦争の悲惨さを伝えていきたい。さらに、収集した貴重な資料を図書館等で体系的に整理、閲覧し、市の戦争記録を全て学ぶことができる工夫をしたい。

産砂の幹線排水路

整備の考えは

◎大前議員 土器町東地区の雨水を強制的に排除する産砂ポンプ場に流れ込む幹線排水路は老朽化が進んでいる。今後、排水

路の改修など、早急に内水氾濫による被害解消へ総合的な対策に取り組んでもらいたい。

◎上下水道部長 土器雨水幹線1号は、雨水排水対策上、重要な水路である。また、関係3課で協議したところ、優先的に改修を実施すべき排水路という位置付けを行った。事業化に向け、積極的な姿勢で努力していくが、排水路改修は地元の協力なくしては推進できない事業なので、ご支援をお願いする。

駅前県道整備で

中心市街地活性化を

◎片山議員 JR丸亀駅から南へ京極通り交差点までの県道を、歩行者優先の2車線の道路として再生すべきではないか。

◎市長 駅前からの県道も、丸亀駅から丸亀城へのルートであり、2車線の道路空間とし、広い遊歩道を整備することによって、歩いて楽しく居心地のよいアメニティ空間が創出できる。また、丸亀駅前南地区整備計画区域への民間施設誘導にもつながり、中心市街地のにぎわいが創出され则认为る。今後、関

一般質問

係機関と協議を行いながら、適正な時期に道路管理者である県へ要望を行っていきたい。

廃食油を回収し

有効活用の考えは

◎福部議員 家庭から出る廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料に精製し、ごみ収集車の燃料とするなど有効活用している自治体が県内にもある。本市でも廃食油の回収に取り組むとともに、バイオディーゼル燃料を市のごみ収集車に利用するなど、普及促進に努めてはどうか。

◎市長 循環型社会の形成に向けた新たな取り組みとして、廃食油の回収方法や回収拠点などについて先進事例や課題を分析し、調査研究していきたい。また、廃食油の回収方法が確立されれば、ごみ収集車等への利用も含め、検証していかなければならないと考えている。

ふるさと納税

使いみちの拡充を

◎佐野議員 ふるさと丸亀応援寄附金（ふるさと納税）を母校

にしたいと思う人に伝えるため、同窓会の場合などでPR活動をすることはできないか。また、寄附金の使いみちとして母校への寄附という項目を入れることはできないか。

◎市長 制度開始から5年を経過しており、より効果的な手法について検討が必要だと考えている。母校への寄附という提案についても、寄附金を教育に生かしてほしいとの希望が多いことや、学校を指定し寄附する人もいることから、今後も意向に沿えるように誠意を持って対応していきたい。

防災行政無線の

改善を

◎中谷議員 災害情報が直ちに市民に理解されるよう、防災行政無線による緊急地震速報などの放送をサイレン音だけでなく音声による放送へ改善する、報知音を防災訓練で実際に使用する、防災ラジオで防災無線を補完するなどの対策を求めたい。

◎消防長 緊急地震速報の発令は、サイレンの吹鳴に引き続きは、災害情報などの音声放送が流れ



る手順となっており、避難勧告も音声放送と併用して運用している。また、防災訓練でも音声データを直接聞いてもらい周知に努めるとともに、防災ラジオについても、導入に伴う費用対効果などを検討したい。

奨学金の返済支援 市独自の制度を

㊦ 三木議員 病気や失業などにより、奨学金を返済したくても返済できない状況がある。丸亀市独自で奨学金の返済支援制度を創設する考えはないのか。

㊧ 健康福祉部長 奨学金は、経済的理由で進学を断念することがないよう、学生を支えるためのものであり、卒業後の収入が安定せず、奨学金の返済が困難な人の救済は、喫緊の課題である。有効な手立ての速やかな実施が望まれるが、本制度は国の責任で実施すべきものであることから、本市独自の支援は困難だと考えている。

市民の相談窓口 設置する考えは

㊦ 加藤議員 要望や困り事を市民は市役所のどこに持っていけばいいのかわからない。市民からの相談をいったん受けとめる場が市役所の中に必要である。市役所の組織として市民の相談窓口を市役所の入口付近に設置すべきと考えるが、どうか。

㊧ 企画財政部長 市役所の市民相談事業の窓口をできる限り集約し、市民からの相談をいったん聞く体制づくりが必要だと考えている。相談窓口の場所も市民の目につきやすく、高齢者や障害者も手軽に利用できる場所が適切だと認識している。現在検討段階だが、市民に一步近づいた市役所づくりに努める。

丸亀城の改善策 市の考えを問う

㊦ 内田議員 丸亀城の天守は、照明が暗く、階段が急である。入場者の安全のため改善策はないのか。また、天守へ続く見返り坂は急勾配の坂道だが、手す

りを設けることはできないか。

㊧ 教育部長 天守2階部分はやや暗いので、照明施設の設置が可能かどうか今後検討していきたい。天守の階段は重要文化財という性質上、構造変更は難しいことから、階段の上り下りの際の注意喚起を促す表示板を設置し安全管理に努める。

㊦ 都市整備部長 丸亀城は文化財の保護が最優先されるため手すりの新たな設置は難しいと考えるが、実現可能な方法を検討したい。

ドクターヘリ発着 離島にヘリポートを

㊦ 神田議員 高齢者の緊急疾患は脳に由来するものが多く、安静かつ緊急に移送することが重要であるため、ドクターヘリの出動が必要になってくる。離島の診療所がある場所に、地元住民からも要望があるヘリポートの設置が必要でないか。

㊧ 生活環境部長 緊急の場合には、周囲に建物などの障害物がなく、平たんで一定の広さがあれば、ドクターヘリの離着陸は可能である。現在広島診療所前

は埋め立て整備を進めている場所であり、関係機関と協議のうえ、簡易ヘリポートを整備する方向で検討していきたい。

消費税の増税 市長の考えを問う

㊦ 尾崎議員 消費税には、貧しい者にも重い負担をかける点や、高所得者ほど税負担が軽くなる点など大きな弊害がある。市長は消費税をどう認識しているか。また、消費税の増税に市長は賛成か、反対か。

㊧ 市長 消費税は、世代間の負担の公平性が図れる一方、議員ご指摘の逆進性や累進性に乏しい点など、メリット、デメリットが常に議論の対象となる税制だと認識している。現時点では消費税の増税を断行すべき条件が整っておらず、それより先にすべき課題や選択肢が大いにあることから、来年4月1日の増税には反対である。

議会だよりは、議員の質問の中から1項目を選び、質問・答弁の内容を要約のうえ掲載しています。

教育民生委員会

7月31日
～
8月2日

和光市
・
三条市

放課後児童クラブ

スマートウェルネスシティ

放課後に友達や指導員と過ごす「放課後児童クラブ」。今後に向けて丸亀市でもさまざまな議論が行われている。これから方向性を決める一端として、積極的に取り組んでいる和光市へ視察。本市同様、放課後子ども教室との一体的運用は行われていないが、密に連携を図り、子どもたちに対してよりよい環境づくりを行う必要性があることを改めて感じた。

健康で幸せな「健幸」づくり



和光市で説明を受ける



北原保育クラブ（和光市）

は「まち」づくりから、を掲げる三条市を視察。健康、暮らし、にぎわい、生きがい（就労）を軸に、全市挙げての戦略。特に食育に関しては「米どころ新潟」のプライドを感じる取り組みを行っていた。本市も多角的な方面から、総合的「まち」づくりに取り組みたい。



三条市でのあいさつ

常任委員会視察

都市経済委員会

7月24日
～
7月26日

小松市
・
高岡市
・
宝塚市

まちなか再生

体験滞在型観光

消防通信指令

南加賀地域の中心都市小松市では、歴史的資源の保存と活用や、本市と同じ城下町でのまちなか再生の取り組みが進んでいる。現場の町家へも出向き、人と話す機会を持つことで課題も浮かび上がったが、行政と住人の共通認識に展望を見ることができた。



小松市の町家

高岡市は「前田家」400年の歴史を誇る町ながら、通過型観光となっている。歴史と文化を生かし、食のブランド化を図

り、滞在型観光への振興に取り組んでいる。また、地域の特長を生かした若手の育成など、参考にしていきたい。



高岡市で説明を受ける

宝塚市の消防指令センターは、2市1町の共同運用であり、本市も来年4月から普通寺市、多度津町との共同運用が予定されている。システム整備費や維持管理費の縮減が期待されるが、宝塚市の職員の使命感にあふれた説明に学ぶことも大であった。



消防通信司令室（宝塚市）

生活環境委員会

7月22日
～
7月24日

福岡市・
長崎市・
嬉野市

小水力発電

空き家対策

野球場の運営

長崎市では「空き家対策」について研修し、所有者から寄付された建物と土地を除去や空き家除去費の一部を補助する事業の実施、そして空き家等の適正管理に関する条例を制定するなど、徹底した空き家対策に取り組んでいる。



長崎市で説明を受ける

福岡市では、瑞梅寺浄水場で「小水力発電施設」について研修し、環境対策と環境教育に重きを置いた再生可能エネルギー



瑞梅寺発電所

の推進に力を入れている。

嬉野市では「野球場の運営と利用状況」について研修し、市とホテル事業者が連携した利用促進策で、大学野球の合宿誘致でよい結果がでていた。

いずれの事例も本市事業の課題に関連するもので、今後の議会審議に活用したい。



みゆき球場（嬉野市）

常任委員会視察

総務委員会

7月22日
～
7月24日

戸田競艇場・
習志野市・
芦屋市

競艇事業

協働・地域担当制

男女共同参画

今回の視察では、特に習志野市で学んだ地域担当職員制が印象深かった。

昭和43年にスタートした習志野市の「地域担当職員制度」は、縦割り行政を排し、地域課題を市民と一緒に考えていこうとする制度である。地域担当職員は①「広報広聴の担い手」として、市の施策や計画などの情報をお知らせし、②「地域のまちづくりの担い手」として、市に対する



習志野市で説明を受ける

る意見や要望などを受け止め、姿勢に反映させるとともに、地域の行事や活動に直接参加し、地域に根付いたまちづくりを模索している。職員の意識改革にもつながる制度なので、ほぼ全職員が担当している。

各地域では「まちづくり会議」が設置され、関係する団体の代表や市の担当職員などで運営され、地域の交流や話し合いの場として、また、地域の意見や要望を直接市政に反映させる場として、活動している。

住民本位の行政にしていこうとするもので、本市にも大いに参考になった。



戸田競艇場

議会改革特別委員会

昨年3月、本市議会では市民に開かれた議会、政策提案型議会、行政へのチェック機能強化などを目指して「議会基本条例」を制定しました。本会議での一問一答制の導入、そして議会報告会を初めて開催するとともに市民の皆様からも様々なご意見をいただき、議会改革に努めてまいりました。

しかし改革といっても緒に就いたばかりです。これからも改善すべき点は多々考えられます。そこで、今期議会におきましても前期に引き続き議会改革特別委員会が設置されました。二元代表制の一翼として、議事機関（議会）自らが改革し実力をつけて、執行機関と緊張関係を持ちつつ、より良い政策を実現しなければなりません。

現在、議会改革特別委員会では月1回会議を開き、改革改善策に向けた活発な論議を進めています。委員会での論議の結果は後日報告させていただきます。

市民の声を聴き、市民と共に歩む議会でなければなりません。委員一同気持ちを新たに議論を進めています。



特別委員会の取り組み

委員と議長、副議長、理事者の計15名が関東方面と中部方面に分かれて6市に伺いました。市庁舎整備にあたり、どのような手順を踏んだのか。また、市民や議会はどのようにかかわってきたのかなど、地域課題への取り組みや議論の進め方などを学ぶことが主眼です。

青梅市では、バリアフリーに配慮しつつ、市民が日常的に利用する市民課などを1階にまとめたり、交流スペースを設けたりした市庁舎を建設したこと。三田市では平成17年に基本構想を立ててから、市民アンケートや市役所来庁者への意見聴取など、市民の意見を取り入れることに力を入れていることなど、各市の状況に応じた市庁舎整備に取り組んでいました。

本市での今後の議論においても、議会として参考にしてまいります。

▶バリアフリーに配慮した一階ホール（青梅市）



◀三田市での説明



議会の動き 7・8・9月

9							8							7			
27日	26日	25日	20日	18日	13日	12日	11日	10日	9日	6日	30日	23日	21日	20日	19日	5日	4日
一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	企業決算特別委員会	企業決算特別委員会	企業決算特別委員会	企業決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会
一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会
一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会	一般会計決算特別委員会

特別委員会

丸亀市議会報告会

議会報告・質疑応答・意見交換

皆様の参加が
市議会を変えます！
市政を変えます！

11月9日
土

午後6時30分

- 栗熊コミュニティセンター
- 丸亀市民会館中ホール



うちっ娘

11月16日
土

午後2時

- 飯山市民総合センター
- JA香川県丸亀支店(郡家町)



京極くん

入場無料です。
お誘いあわせのうえ、
是非ご参加ください。



骨付じゅうじゅう

新人議員の つぶやき…

《誌上ツイッター》

PART II

半年経って思うこと。

綾歌町議を経て丸亀市議会議員当選後、6月定例会で一般質問をさせていただきました。私の質問に真摯に向き合ってくれていただき、市民の代表として身が引き締まる思いでした。

市議会議員として、地域の皆様の代表として、丸亀がもっとすばらしい「まち」になれるよう頑張らねば！と強く決意しました。



吉田正和

議席をいただいて以来、早くも2回の定例会が終わりました。厳しかった今夏の猛暑にも勝る思いで、日夜市政発展のためにがんばっておりますが、山積する課題解決には、いまだ道遠です。今後も蛮勇を振り絞って市民一人一人の幸せと丸亀市の魅力ある発展のために、議員各位とともに励む所存です。



真鍋順穂

2回目の出番（今回は議案質疑）、反省ばかりです。自らの「真」をもっと鍛えなければ、と痛感しています。「非は理に勝てず、理は法に勝てず、法は権に勝てず、権は真に勝てず」。私の「真」を市民の皆さんのお声で育ててください。最後に、「瀬戸芸」（地元・本島）へのご支援に感謝いたします。



岡田 剛

当選後、約半年が経ち、様々な場面で多くの市民の方々に声を掛けていただいています。6月、9月の議会一般質問をさせていただきましたが、まだまだ市政に皆様の声を届けきれていないと感じています。これからも、「市民が誇れる・住んでいて良かった」と想える丸亀にするために邁進していきます。



佐野大輔

議会報告会を開催します。

11月9日(土)・16日(土) ※詳しくは15ページ

編集後記

目指せ！

スポーツ王国 丸亀

丸亀市には総合運動公園があります。現在、新野球場を建設中ですが、野球場ができれば、いろいろなスポーツやイベントがもっと楽しめます。たとえば香川丸亀国際ハーフマラソンがその一つです。トップアスリートをより身近に感じることができるよう。

また、香川県にはカマタマ1レ讃岐というJ2昇格間近のプロサッカーチームやバスケットボールの高松ファイブアローズ、野球の香川オリイブガイナースなどがあり、総合運動公園を整備することによって、プロスポーツの技術や心構えなども、もっと教えてもらえることでしょう。

7年後の平成32年には、東京オリンピックも開催されます。丸亀市の子どもたちからも選手として参加できるよう、市を挙げて選手育成に取り組みしましょう。

広報広聴委員 大前誠治